

第 1 講座 地域の調査, 日本の地域的特色と地域区分

1 地形図 次の地形図の [] にあてはまる語句や数字を答えなさい。

① を表す地図記号

② 地図記号

③ の土地利用を表す地図記号

④ 等高線の間隔が広いところは、傾斜が [] である

⑤ 太い等高線(計曲線)は標高 [] mごとに引かれている

⑥ の土地利用を表す地図記号

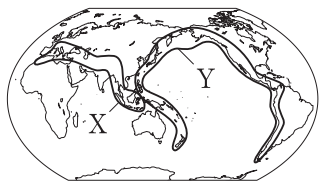
(国土地理院発行「丸亀」)

・実際の500mが、この地形図上では2cmに描かれているので、この地形図の縮尺は []

2 地形図 次の文中の [] にあてはまる語句や数字を答えなさい。

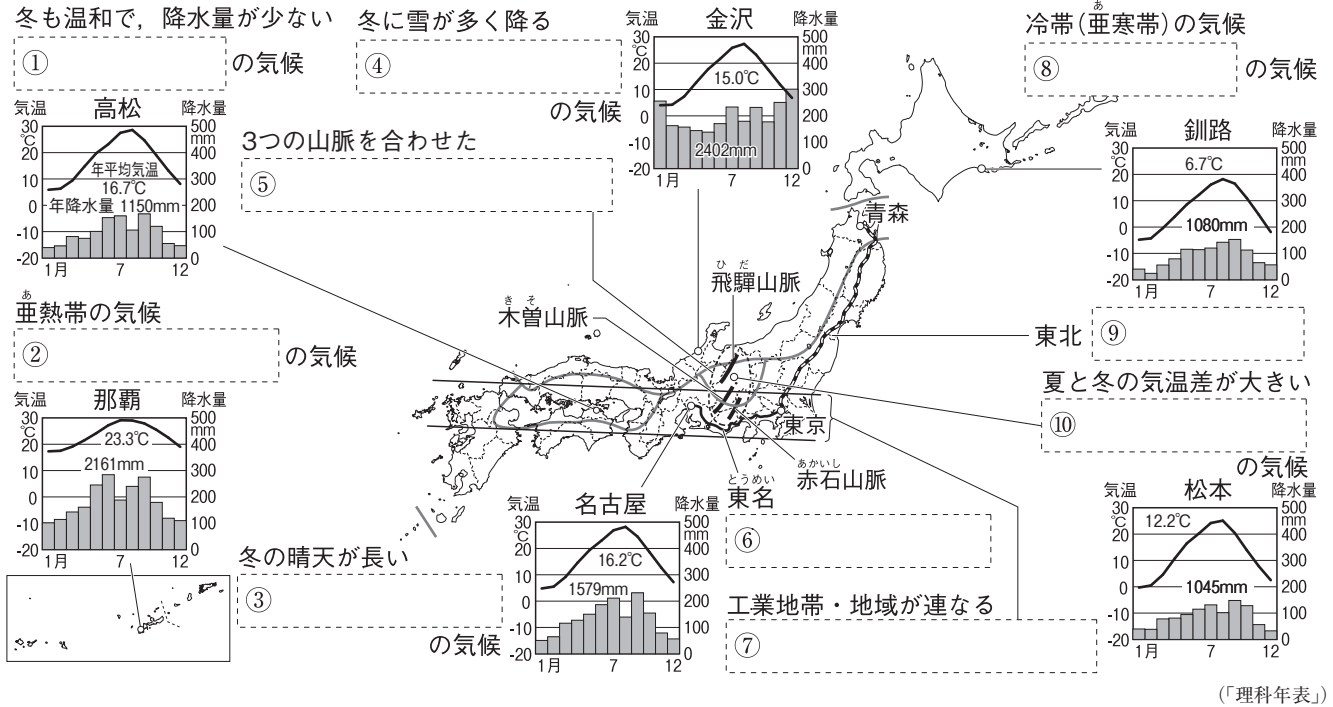
- 地図上で、方位記号などで方位を示していない場合、地図の上が [] を示す。 []
- 5万分の1の地形図では、主曲線は標高 [] mごとに引かれている。 []
- 等高線の間隔がせまいところは、傾斜が [] である。 []
- 5万分の1の地形図上で、2cmの長さの実際の距離は [] mである。 [] m

3 自然環境 次の問いに答えなさい。

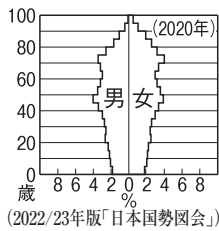


- 左の地図のX・Yには、けわしい山脈や火山、地震の震源地が連なっている。それぞれ何というか。 X [] Y []
- 日本の国土面積に占める山地・丘陵地の割合を次の [] から選びなさい。
約4分の1 約2分の1 約3分の2 約4分の3 []
- 本州中央部に南北にのび、日本の地形を東西に分けるみぞ状の地形を何というか。 []
- 小さな岬と湾がのこぎりの歯のように連なる海岸地形を何というか。 []
- 深さ200mくらいまでの平坦な海底を何というか。 []
- 川が山間部から平地に出るところに土砂が堆積してできる傾斜地を何というか。 []
- 川が運んできた土砂が河口付近に堆積してできる地形を何というか。 []
- 日本の気候に影響をあたえている、夏と冬で風向きが変わる風を何というか。 []
- 本州以南の地域で降水量が多くなる、5月から7月にかけての時期を何というか。 []
- 夏から秋にかけて日本列島を通過し、高潮や風水害をもたらすものは何か。 []
- 海底を震源とする地震のときに発生し、沿岸部をおそうことがあるものは何か。 []
- 自然災害が発生したときの予想被害地域や、避難場所・防災関連施設の場所などの情報を掲載した地図を何というか。 []

4 日本の地域的特色 次の地図の[]にあてはまる語句を答えなさい。

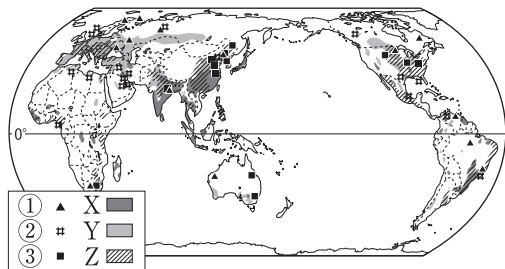


5 人口 次の文中の[]にあてはまる語句を答えなさい。



- (1) 左のグラフを[]という。 []
- (2) 日本では子どもの割合が低下し、高齢者の割合が高まる[]化が進んでいる。 []
- (3) 大都市では交通渋滞などがおこる[①]、地方の農村などでは地域社会の維持が困難になる[②]が問題となっている。①[] ②[]

6 資源・産業、交通・通信 次の問いに答えなさい。



- (1) 左の地図中の①～③で産出される鉱産資源を、次の[]からそれぞれ選びなさい。 ①[]
 ②[] ③[]
 [] 石油 鉄鉱石 銅鉱石 石炭 すず
- (2) 左の地図中のX～Zの地域で生産される三大穀物をそれぞれ答えなさい。 X[]
 Y[] Z[]
- (3) 次の①～③を利用する発電をそれぞれ何というか。 ① ウラン[]
 ② 水[] ③ 石油・石炭・天然ガス[]
- (4) 次の①・②の農業や栽培方法を何というか。
 ① 大都市の郊外で、大都市向けの農産物を生産する農業。 []
 ② 温暖な地域で行われる、野菜などの出荷時期を早める栽培方法。 []
- (5) 育てる漁業を2つ答えなさい。 [] []
- (6) 東京都を中心に広がる、印刷業のさかんな工業地帯を何というか。 []
- (7) 原料を輸入し、工業製品をつかって輸出する貿易を何というか。 []
- (8) 日本国内の貨物輸送の中心になっている輸送機関は何か。 []

STEP 問題

1 右の地形図を見て、次の問いに答えなさい。

- (1) 地形図中にXで示した○の地図記号が示しているものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 消防署 イ 警察署
ウ 裁判所 エ 官公署

- (2) 地図中の地点Aと地点Bの間の長さをはかると3cmであった。実際の距離は何mか。

- (3) 地形図から読み取れる内容として正しいものを次から2つ選び、記号で答えなさい。

ア 旧庁舎の南側の道路沿いに病院がある。
イ 札幌駅から見て道庁は北西にある。
ウ 時計台の南東には交番がある。
エ 地形図上に標高を表す情報はない。



1

(1)	
(2)	m
(3)	

2 右の地図を見て、次の問いに答えなさい。

- (1) 海岸線から200海里までの範囲に含まれないものを次から1つ選び、記号で答えなさい。

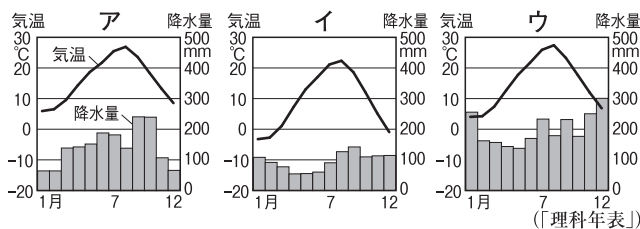
ア 領海 イ 排他的経済水域
ウ 公海 エ 大陸棚

- (2) 日本の地形を東西に分けているみぞ状の地形を何というか。また、その地形の西の縁にあたるものを地図中のア～エから選び、記号で答えなさい。

- (3) 流域面積が日本最大の川を地図中のA～Dから選び、記号と河川名を答えなさい。

- (4) 次の文中の①・②からあてはまるものをそれぞれ選び、記号で答えなさい。
大陸を流れる大河と比べたときの日本の川の特徴は、長さは①|ア 短く |イ 長く|、流れは②|ウ ゆるやか |エ 急|である。

- (5) 右の雨温図は、地図中のa～cのいずれかの道県庁所在都市のものである。a～cの都市にあてはまるものをア～ウからそれぞれ選び、記号で答えなさい。



- (6) 日本を7地方区分に分けた場合、地図中のbの都市は何地方にあるか。

2

(1)	
(2)	地形 記号
(3)	記号 河川名
(4)	① ②
(5)	a b c
(6)	

3 右の資料を見て、次の問いに答えなさい。

(1) Iのうち、人口密度が最も高い州の名前を答えなさい。

(2) IIのA～ウは、1935年、1960年、2020年のいずれかを示している。A～ウを年代の古い順に並べ、記号で答えなさい。また、最も年代の古いグラフの型を何というか。

(3) IIIについて、次の問いに答えなさい。
 ① 石油や天然ガスを燃料とする発電をA～ウから選び、記号で答えなさい。
 ② 「その他」には再生可能エネルギーが含まれる。再生可能エネルギーを1つ答えなさい。

(4) IVのA～Cの組み合わせとして正しいものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア A畜産 B野菜 C米
- イ A野菜 B米 C畜産
- ウ A米 B野菜 C畜産
- エ A米 B畜産 C野菜

(5) Vから小麦の自給率を求め、小数第1位までの数字で答えなさい。

(6) VIのA～エのうち、①遠洋漁業にあてはまるもの、②育てる漁業にあてはまるものをそれぞれ選び、記号で答えなさい。

(7) VIIについて、次の問いに答えなさい。

- ① 愛知県と三重県にまたがる、Xの工業地帯名を答えなさい。
- ② Yの中で最も大きな割合を占めるものを次から選び、記号で答えなさい。
 ア 鉄鋼 イ I C (集積回路)
 ウ 自動車 エ 電気機械

(8) VIIIについて、1960年の日本の主要な輸出品を次から選び、記号で答えなさい。

- ア 米 イ 魚介類
- ウ 繊維品 エ 精密機械

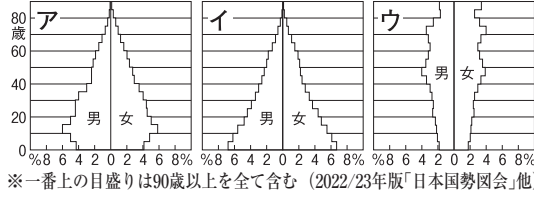
(9) IXのA～エは旅客船、鉄道、自動車、航空機のいずれかである。①新幹線の整備、②高速道路の整備と関係の深いものをそれぞれ選び、記号で答えなさい。

I 州別の面積・人口

面積	アジア 23.4%	アフリカ 22.3	ヨーロッパ 16.9	北アメリカ 18.0	南アメリカ 13.1	オセアニア 6.3
人口	アジア 59.4%	アフリカ 17.5	ヨーロッパ 9.5	北アメリカ 7.6	南アメリカ 5.5	オセアニア 0.5

(面積2015年、人口2021年)(2022/23年版「日本国勢図会」)

II 日本の人口ピラミッド



III 日本の発電源別総発電量割合

2000年度	ア 61.3%	イ 29.5	ウ 8.9	その他 0.3
2020年度	ア 83.2%	イ 3.9	ウ 9.1	その他 3.8

(2022/23年版「日本国勢図会」)

IV 日本の農業産出額割合

1970年 4.7兆円	A 37.9%	B 25.9	C 15.9	果実 8.5	その他 11.8
2020年 8.9兆円	18.4%	36.2	25.2	9.8	10.4

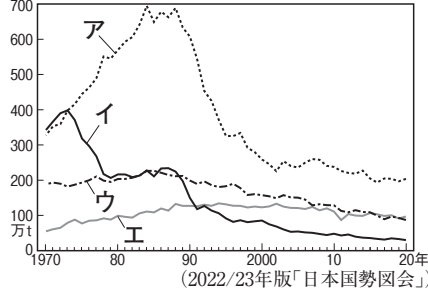
(2022/23年版「日本国勢図会」他)

V 日本の小麦の需給

生産	輸入	輸出	供給量 (消費量)
949	5521	0	6412

(2020年度、千t) (2022/23年版「日本国勢図会」)

VI 日本の漁業種類別漁獲量の推移



VII 工業地帯の工業出荷額の内訳

X	Y: 68.6%	金属 9.5	繊維 6.6	その他 4.7	9.9
全国	45.3%	13.5	13.3	12.2	14.5

(2019年) (2022/23年版「日本国勢図会」)

VIII 日本の品目別輸入額割合

1960年	繊維原料 17.6%	石油 13.4	7.0	5.1	4.8	3.9	3.8	石炭 3.1	その他 41.3
2020年	液化ガス 27.0%	機械類 8.7	鉄くず 5.3	小麦 4.7	精密機械 2.9	衣類 4.0	石炭 2.5	その他 44.9	

(2022/23年版「日本国勢図会」)

IX 日本の旅客輸送量割合

1965年度	ア 66.8%	イ 31.6	ウ 0.9	エ 0.8
2019年度	30.3%	62.9	0.2	6.6

(2022/23年版「日本国勢図会」他)

3

(1)	州
(2)	型
(3)	①
(3)	②
(4)	
(5)	%
(6)	①
(6)	②
(7)	①
(7)	②
(8)	
(9)	①
(9)	②